

化石模型づくり I (植物化石)

1 目的

植物化石の模型を作ることによって、化石の成り方について理解することができます。

2 準備するもの

ラバーボール (お椀で代用できる)

スパチュラ (マイナスのドライバーで代用できる)

プラスチックケース (給食の卵豆腐のケースで代用できる)

絵の具、ハンマー、新聞紙

石膏 (1kg 320円 1人分として90~100g使用)



3 作り方

- ①ラバーボールに石膏と水を同量入れてかき混ぜます。石膏の量は、プラスチックケース一杯が2人分になります。また、石膏を計る時は必ずすりきりにすると正確に計りとることができます。石膏が少ないとなかなか固まりません。
- ②プラスチックケースの半分まで石膏を入れ、葉の表を下にして石膏の上に密着するように置きます。このときに使う葉は、ケヤキなどのニレ科やコナラなどのブナ科の樹木、シダ類等が適しています。葉脈がはっきりしている植物を使うのがコツです。
- ③先に流し込んだ石膏は、12分程度 (気温が25°Cの時) で固まり始めるので、上半分に流し込む石膏を準備しておきます。容器がいっぱいになるまで流し込んでください。後から流し込む石膏は、絵の具で着色しておくとも境目がはっきりして取り出しやすくなります。
- ④石膏が固まったら、境目に沿って少しずつ割ります。スパチュラを境目にあててハンマーで軽くたたいたら、場所を少し移動してまた同じ動作を繰り返します。何度か繰り返すときれいに割れます。スパチュラがない場合には、マイナスのドライバーで代用できます。

